

1 特別活動における教育課程実施上の課題と指導上の留意事項**(1) 学級活動における確認事項****① 2「内容」**

- ・ 2「内容」で示している 17 の内容については、例示ではなく、共通事項である。
- ・ 17 の内容を生徒や学校の実態を踏まえて関連・統合を図りながら、1 年間で取り扱う。

② 話し合い活動

- ・ 話し合い活動において決定したことなどの評価や修正を大切にする。
- ・ 小学校で身に付けた話し合いのスキルを継続して活用できるようにする。
- ・ 小学校と中学校で同じ方向を目指してステップアップできるようにする。

③ 人間関係を形成する力

- ・ 発達段階に応じた積み重ねが不可欠である。
- ・ 大人になってからの複雑な価値観を持った人間関係に対応する力を育てる。
- ・ 将来、人間関係を形成する力が強く求められることを見通して指導する。

(2) 生徒会活動における確認事項**① 自発的・自治的活動**

- ・ 異年齢集団による交流は、学校での様々な工夫により成果を上げている。
- ・ 計画や運営を生徒主体で行うことが大切である。

② 学校行事への協力

- ・ 学校が計画を立てるものだが、主体的に生徒が参加できるようにする。
- ・ 生徒会や実行委員会等が有効に機能するようにする。

③ 集団での指導体制とリーダー研修

- ・ 生徒会活動を学校文化にするために、教師が集団で指導する体制・サポートする体制を整え、引き継ぐ。(担当任せにならないようにする。)
- ・ リーダー研修等を活用し、生徒間でも学校文化や伝統を引き継げるように指導する。

(3) 学校行事における確認事項**① 学校行事の目標**

- ・ 育てたい(目指す)生徒像、身に付けさせたい力を共有する場を大切にする。
- ・ 生徒を育てるために学校行事を行っていることを、教職員全体で行事ごとに確認する。

② 自主的・実践的な態度の育成

- ・ 生徒会活動を窓口として学校行事に協力させることで、自主的・実践的な態度を育てる。

③ 学校行事相互の関連

- ・ 生徒に身に付けさせたい資質・能力を考慮して、1 年間の学校行事をつなぐ。
- ・ 各行事の目標や内容を見直し、次の行事に向けて修正していく。

2 特別活動リーフレット「学級・学校文化を創る特別活動 中学校編」のポイントについて**(1) リーフレット作成に当たって**

- ・ 特別活動が、学級・学校文化、学校の雰囲気をつくりあげる要であることを確認する。
- ・ 特別活動の様々な特性の中から、特に大切な話し合い活動に特化して作成している。

中学校 特別活動

(2) 学業指導としての視点 (リーフレット p.1)

- ・ 学びに向かう集団づくり, 基盤づくりを行うために, 特別活動を行う。
- ・ 集団活動を通して, 個人を鍛える。
- ・ 中学校だからこそ学級活動を大切にしている視点を持つ。教科担任制により学級の生徒と関わる時間が少ないことを意識して学級づくりを行う。

(3) 話し合い活動の意義 (リーフレット p.3~4)



(4) 話し合い活動のすすめ (リーフレット p.5~6)

- ・ これからは集団決定を大切にすると同時に, これまで同様に自己決定も大切にする。
- ・ 議題と題材については, 基本的には内容の(1)に関わることは議題, 内容の(2)と(3)に関わることは題材となる。ただし, 内容の(2)や(3)であっても, 集団決定できるものであれば議題と考えることができる。

(5) 管理職に向けて (リーフレット裏面参照)

3 その他

- ・ 特別活動に関する指導資料…国立政策研究所 HP (下記アドレス) を参照

<http://www.nier.go.jp/kaiatsu/shidousiryu.html>

「学級・学校文化を創る特別活動 中学校編」教員向けリーフレット (平成 26 年 6 月発行)

「楽しく豊かな学級・学校生活をつくる特別活動 小学校編」教員向けリーフレット (平成 25 年 7 月発行)

「楽しく豊かな学級・学校生活をつくる特別活動 小学校編」教員向け指導資料 (平成 26 年 6 月発行)